

鮎谷周史の、圧巻！  
「あなたの学習効率を  
最大化する『質問力強化』放談」  
音源  
ご感想集

■当音源（鮎谷周史の質問力強化音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/871ea27e/>

これまで質問とはどうあるべきなのか、良い質問と悪い質問との違いはどこにあるのか、曖昧な感覚でしか捉えていませんでしたが、ここまで明確に言語化し定義されると、「なるほど！」と腑に落ちました。

自分でも普段から質問力については気になっていたところでしたので、音源リリースの案内を見たとき、

「これだ！」

と思い即ポチしてしまいました。

まるで

「あなたのニーズはこれですね。そのための音源をリリースしました」

と言われたようで、これはもう買うしかありません。

オリジナル音源の一部抜粋ということで、本来は全体の話の中で聴くのがあるべき姿なのかもしれませんが、これだけでも自分にとっては価値ある内容でした。むしろ30分という短さゆえ、メモを取りながら集中して聴くことのできるジャストサイズの音源だと思います。

以前に放談会音源を購入した時は、長時間の音源を時間の確保や集中力の維持に苦労したのですが、今回このようなピンポイントの課題に絞ったショート音源を企画していただいたことは、気軽に購入し隙間時間に聴くことができるという点でありがたいと思っております。

さて、内容ですが、これまで質問とはどうあるべきなのか、良い質問と悪い質問との違いはどこにあるのか、曖昧な感覚でしか捉えていませんでしたが、ここまで明確に言語化し定義されると、「なるほど！」と腑に落ちました。

適切な質問は適切な答えを引き出し、良質のコミュニケーションを形作る反面、不適切な質問は回答者を困惑させるばかりかその場のテンションを下げ、他の人の投下資本（時間やお金）にも損失を与えるということは自戒しておかなければならないと思いました。

特に、ここで挙げられている5つの悪い質問パターンは、すぐに使えるほど実践的

■当音源（鮎谷周史の質問力強化音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/871ea27e/>

でした。鮎谷様のお話を自分なりに解釈すると、

- ・スタートラインから一歩も進んでいない質問
- ・何を質問したいのか整理がされていない質問
- ・範囲が適切にフォーカスされていない質問
- ・次のアクションに結びつかない質問
- ・私物化された質問 にはならないよう留意すべき

ということかと思います。 自分もこれまで意識せずにそのような質問をしてきたかもしれないと考えると、この音源を聴いたことは今後の質問力を高めるうえで価値ある気づきになりました。

さらに最後に触れられていることですが、日々の気づきを文章化することが質問の意思決定基準を上げることにつながるということを再認識した次第です。

どうもありがとうございました。

(T. K 様)

冒頭の質問力の話は、かなりガツンとききました。

冒頭の質問力の話は、かなりガツンとききました。

質問力とはコミュニケーション力であり、理解力の事である、とのご指摘は、回答者側に立つ事が多い、鮎谷さんだからこそのご指摘と思います。自分自身、セミナーなどに参加した時は、緊張感を持って受講するため、質問を心掛け、実践しておりますが、ご指摘の困った例に心当たり有りて猛省しております。今後は、回答者の事も十分に考慮し、

自明な事は質問しない

問いの意味は明確にする

質問の範囲を広げ過ぎない

質問のための質問をしない

具体的、且つ、抽象化する

について日々訓練&実践していこうと思います。

本音源にて学習する事により、この訓練に有効なツール、それが日記なのだと再認識しました。日々の気付きを言語化する事により、具体化、抽象化のスキルアップに繋がります。これを習慣化できれば、脳の思考回路が、階層的、3次元的に進化する期待が持てます。

（鵜木 重幸 様）

これだけ緻密に定義された言葉をたくさん持って世界を見ると全く見え方が違ってくるのではないかと、他人に話をする場合でも圧倒的な説得力が生まれるのではないかと印象を受けました。

今回の「圧巻！日記の書き方放談会 Q&A 編」は、本当に長丁場であったにもかかわらず、  
鮎谷さんのパワーが衰える気配は全くなく、

「この人は本当に1日中、それ以上でも語り続けられる人なんだ」

と驚かされ、自分の専門分野は2日でも3日でも語り続けられるのがプロフェッショナルの証だという意味を体感させていただきました。

同時に自分が生業としている分野でこれだけ語り続けられるようになった姿を想像し、まだ遠くの映像ではありますが、そういう状態に近づき続けたいという願望が生まれました。

これだけでも参加した価値は十分あったのですが、非常に盛りだくさんな中身から特に印象に残った点を2つ挙げると、まず冒頭でお話しされ、前日のメルマガでも述べておられた、

「質問力＝コミュニケーション能力」

という点。

自分が提出した質問が恥ずかしくなりましたが、「適切な質問」のために留意しなければならない5つの注意点を今後は意識しながら、質問力を高めていくきっかけとできればと思います。

もう1点は、鮎谷さんが施されている「言葉の定義」が非常に明確かつ緻密であり、それが非常に広範囲の言葉に対してなされていることです。  
これだけ緻密に定義された言葉をたくさん持って世界を見ると全く見え方が違ってくるのではないかと、他人に話をする場合でも圧倒的な説得力が生まれるのではないかと印象を受けました。

(岡本 昭夫 様)

■当音源（鮎谷周史の質問力強化音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/871ea27e/>

質問力の向上は、他者との関係構築につながるだけでなく「自分に問いかける力」の向上にもつながり、それが自分自身の行動の改善を促すことにつながるのではないかと思います。

最初に「質問力」について感じたことですが、

「質問力＝自分に問いかける力」

と定義しても良いのではないかと感じました。

日々、日記を書く際に、様々な自分に対する問いが生まれますが、その問いが適切なものであればあるほど、日々の行動の改善を促すようになるのではないかと思います。質問力の向上は、他者との関係構築につながるだけでなく「自分に問いかける力」の向上にもつながり、それが自分自身の行動の改善を促すことにつながるのではないかと思います。

（S. K様）

**質問そのものについて気づきがありました。**

鮎谷さんの「そもそも質問とは？」というお話から最後の質問と回答まで拝聴させていただき、**質問そのものについて気づきがありました。**

いくつかの分類法があるとしたら、その一つとして質問には 2 種類あるのではないかと感じました。一つは「自分の知らない世界に踏み出すため」の質問で、もう一つは「自分の知っている世界に止まるため」の質問です。

前者の方は、「今いる場所からなんとか抜け出す方法をみつけない！」という気持ちに裏打ちされているので、鮎谷さんが仰っていたように質問を受けた側にも「！」が立つのではないのでしょうか。反対に後者は、自分が今いる場所から抜け出せない（抜け出そうとしない）ことを正当化するためになんとか理屈をみつけたそうという気持ちに裏打ちされているように思います。

自分がこれまでどんな質問をしてきたか。もしくは質問しようとして心にどんな言葉を浮かべてきたか。振り返ってみると、かなりの割合で後者のほうが多かったと思います。すなわち、自分では「変わりたい！」と思いながら、一方では巧妙に変わらなくてもいい理由を探し出そうとしているような心性をずっと抱えて生きてきたような気がします。

ありがとうございました。

（大阪 ECO 動物海洋専門学校 獣医師 渡邊 力生 様）

鮎谷さまが話された質問の仕方、内容については、私自身も思い当たる節があり非常に勉強になりました。

まず最初に鮎谷さまが話された質問の仕方、内容については、私自身も思い当たる節があり非常に勉強になりました。その中でも「暴投というか敬遠の球をほってもホームランにしてくれるだろう」といわれた比喻がとても刺さりました。なるほどいろいろ説明するよりも比喻を使うことによりこんなにわかりやすく刺さるものなのかと実感しました。

そして全体を通して鮎谷さまが本当に言葉を大事にされている、言葉の持つ力を十二分に利用されていることがよくわかりました。

日記、目標においてもその最小単位の言葉がとても重要であるとわかりました。私も今まで以上に言葉を大事にしていきます。そして言葉に注意しながら日記、目標を確認していきます。今回も新たな気づきをありがとうございました。

(K. I 様)



自分自身の質問力を再考させられてしまいました。

いきなり冒頭から質問力のお話があり、自分自身の質問力を再考させられてしまいました。そうこうしているうちに自分の質問に対する回答がはじまり、自分では薄々感じていた部分をズバリ指摘されてしまい、やはりそうだったのかと感じた次第です。

これからご指摘頂いた事項に再度取り組んでる最中です。

引き続きこれからも宜しくお願い致します。

(T. K様)

質問の仕方一つとっても、色々考えるべきポイントがたくさんあるということを、再認識させられました。

今回の音源も、大変ためになりました。いつもありがとうございます。  
一番印象に残ったところは、音源の冒頭でお話しされていた部分で、質問力の大切さです。

質問の仕方一つとっても、色々考えるべきポイントがたくさんあるということ  
を、再認識させられました。

以後、人とのコミュニケーションにおいて、質問の仕方一つで、質問者の人格、能力、姿勢などが明らかになってしまうことがあるということを意識して、取り組んでいこうと思いました。

いつも素晴らしい気づきをありがとうございます。

今後とも何卒、宜しくお願いいたします。

（営業Y. I 様）

このお話は自分へのメッセージに聞こえ、個人コンサルを疑似体験しているような感じがしました。

目標設定から、日記、物語の3部作を何度も聴いていく中で、「!」や「?」をたくさん気づかせていただき、変化、変容を感じていたのですが、とはいいいましても、なかなか劇的に変わるところまではいっておらず、この停滞感は何なのか、私自身のどこに問題があるのかを考えているところでした。

当日参加することはできませんでしたが、音源にてたくさんの気づきを得ることが出来ました。ありがとうございます。

質問力=コミュニケーション力のお話から、グサッと突き刺さり、今回送らせていただいた質問もそこまで考えて送っておらず、恥ずかしい限りではありますが、今回の音源を聴いていなかったら、この先も気づかずに過ごしていたのかと思うと、ゾッとした次第です。

個人コンサルを受けたことはありませんが、個人コンサルを受けるとこのような気づきがたくさん得られるのでしょうか。まさしく冒頭のお話は自分へのメッセージに聞こえ、個人コンサルを疑似体験しているような感じがしました。

(菅 智教 様)

コミュニケーション能力や学ぶ力、質問力、シミュレーション能力といった自分が欲しい力は全て繋がっているのだとわかりました。

質問力＝コミュニケーション能力というメルマガ、そして質問力＝学ぶ力というお話を聞いて、ドキドキの冷や汗ものだったのですが、コミュニケーション能力や学ぶ力、質問力、シミュレーション能力といった自分が欲しい力は全て繋がっているのだとわかりました。

鮎谷さんの音源は準備ができている人にとっては即効性のあるものだと思いますが自分のような人間にとっては遅効性の良薬です。1回や2回聴くだけでは効果がすぐ消えるというか、浸透しきらない場合でも毎日聴く事によって徐々に徐々に染み込んでいく感じです。

今後ともよろしくお願い致します。

(N. S様)

■当音源（鮎谷周史の質問力強化音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/871ea27e/>

言語化して問いかける、という習慣は日記で出来ることですので、「？」を常にたてることで、鮎谷さんの求める質問力の域に少しでも近づけるように日常を大切にしたいと感じました。

質問力をテーマに、言語化されることで自分自身にその力がないことを認識させてくれました。

質問力は学ぶ力であり、日常からの自分への問いが重要になること、日記（時々刻々の記）につながっていることがわかりました。

普段、私を含めた多くの人はセミナーや講演会などで参加者全員の貴重な時間を使って質問をする機会はありません。質問はありますか？と聞かれて初めて考え出したり自分が聞きたいと思っていることはあっても、懇親会とか別の場で「1 対 1」なら許されるかも、程度の問いしか浮かんでできません。

勇気を出して質問する、ということも本人の質問力向上の第一歩としては良いと思いますが上記のように個人的なことになり、みなさんのためにはなりません。何か質問を考えても、質問者本人がまとめきれていない、など普段から考えていないこと、はその場で考えたところで回答者が「いい質問ですね」と思えるような質問のレベルには到達できないでしょう。

言語化して問いかける、という習慣は日記で出来ることですので、「？」を常にたてることで、鮎谷さんの求める質問力の域に少しでも近づけるように日常を大切にしたいと感じました。

ありがとうございました。

（会社員 R. T 様）

改めて時々刻々の記の重要性について繰り返し認識することができました。

鮎谷様

いつも音源ではお世話になっております。

この度は、質問力強化に関するコンテンツの提供ありがとうございます。  
まずは、今回の価格設定がお手軽料金であったため、躊躇なくポチることができました。本来ですと、支払い価値以上のリターンを自分自身で作って行くことができれば、他の音源も躊躇なく行けるのですが、まだまだ、そこには到達できず……。 (汗)

さて、今回の音源についてですが、5つの項目についてご説明いただいておりますがまったく仰る通りで、なんとなく感じていましたが明確に整理することができました。と同時に、質問する際の難しさも感じました。

また、常にこのような質問を受ける立場で、かつ、回答者へ抽象度を上げて回答されている鮎谷さんのすごさを改めて感じました。やはり、パブリックな場での質問に関しては、質問者&回答者の高度なレベルでのやり取りが求められるのだとつくづく感じ入りました。

そして、5項目の最後説明が終わるかというときに、これらの質問回答時における『!』や『?』を時々刻々の記に書き記すことが重要……。というくだりになり、私の中では『!』となりました。あれっ、今回は質問力強化のお話だったのでは？最後は文章化することの、言語化能力強化の話で締めくくられ、改めて時々刻々の記の重要性について繰り返し認識することができました。

お話の中で、項目3番の抽象度が高すぎる質問はよくないが、頭の良い質問者の抽象度が高い質問はエレガントである。といったお話がありましたが、機会がありましたら、具体的な例を交えながら紹介いただけると幸いです。

引き続き、魅力的なコンテンツ提供をこれからもよろしくお願いします。  
ありがとうございました。

(会社員 K. T 様)

■当音源（鮎谷周史の質問力強化音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/871ea27e/>

あなたの

『鮎谷周史の質問力音源』

のご購入をお待ちしております。  
お求めは下記リンクよりどうぞ。

<https://form.os7.biz/f/871ea27e/>

■当音源（鮎谷周史の質問力強化音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/871ea27e/>